

第55回運営委員会の協議状況

日時 平成18年6月22日(木)17:30~21:00
場所 宝塚市男女共同参画センター
出席者 (委員)松本(誠)、川谷、村岡、岡田、佐々木、田村、中川
(河川管理者)田中、森田、渡邊、前川、前田、合田
(事務局)林、松尾、長尾、植田

内容(協議結果)

1 議題、運営調整(第45回流域委員会等)

協議した結果、次の事項を確認した。

- 1) 第44回流域委員会で傍聴者発言のあった「樹木群の死水域」について、河川管理者から説明があり、協議した結果、現況流下能力算定にあたって樹木群を死水域として取り扱っていないことを確認した。
- 2) 河川管理者から、河川整備計画の策定においてはパブリックコメントを実施しないことを今年1月に改定変更していた旨の説明があった。これまでそのことを委員会に説明していなかったことについて陳謝した後、関連文書を次回流域委員会に提出し説明するとともに、その取り扱いについては継続協議することとなった。
- 3) 河川管理者から、「武庫川水系の治水ダムの治水活用に関する緊急提言書」を神戸市に渡し、第44回もしくは第45回総合治水WTに出席するよう調整を行っている旨の報告があった。
- 4) 6月末に知事に提出する「8月提言の骨格案」を次回流域委員会に報告する。
- 5) 次回流域委員会(6月26日開催予定)の議題は、「環境ワーキンググループからの提言案」「新規ダム案の環境影響検討」「千叡ダムの治水活用検討」とする。
環境ワーキンググループからの提言案については、村岡主査、浅見、伊藤、岡田委員が内容を説明し、質疑、意見交換を行う。
千叡ダムの治水活用については、以下の項目について報告する。(協議は次回以降の流域委員会で行う。)
 - 1) 第43回総合治水ワーキングチーム会議の協議結果を報告する。
 - 2) 第43回総合治水ワーキングチーム会議での検討を踏まえ、「千叡ダムの治水活用に関する検討課題」を一部修正し、その枠組みを県から報告する。
 - 3) 現況の主堰堤、放水堰堤の流下能力、定期検査での県の神戸市に対する指示及び「事前放流案」「多目的ダム化案」「治水ダム化案」のそれぞれの概算工事費の内訳を報告する。
新規ダムの環境影響検討資料については、委員から提出のあった意見書、質問書に対する回答を県が行い、討議の上、委員会としての資料の位置づけを確認する。
- 6) 第43回流域委員会で県から提出のあった整備計画の「4つの治水対策メニュー」に対する意見をどのように取り扱うかについては、運営委員会で継続協議することとなった。

2 その他(次回運営委員会の開催日程等)

1) 次回運営委員会の開催日程

- ・ 7月 7日(金)13:30~
- ・ 7月24日(月)13:30~
- ・ 8月 7日(月)14:00~
- ・ 8月21日(月)13:30~
- ・ 8月23日(水)13:30~